

事故の傾向から見た安全対策

○ 事故の傾向と考えられる背景から、ハード・ソフトを組み合わせた対策を強化していく必要があります。

事故の傾向	考えられる背景	対 策 (案)	
		分類	内 容
□ 春期～夏期に多く発生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農繁期による施設操作 ・ 娯楽利用者の増加 ・ 散策などの増加 	ソフト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 操作者への安全教育 ・ 広報誌等による啓発活動
□ 若年層や高齢者の多い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 判断力の欠如 ・ 危険区域への進入 ・ 高齢者の不慮の転落 	ハード	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全施設、進入防止柵の設置 ・ 脱出しやすい施設構造 ・ 進入禁止及び警告看板 ・ 救命道具の常備
□ 娯楽中や車両の事故多い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 判断力の欠如 ・ 危険区域への進入 ・ 車両防護柵の不備 		

安全対策の取組事例 . . . ソフト面の対策

○ 施設管理の視点

施設管理者を対象とした防災、安全の両面から講習会を開催。事故事例を学びながら意識の向上を図る。

○ 啓発活動の視点

行政機関を主体に安全対策協議会を組織し、行政と施設管理者等が協力して、事故防止の啓発活動を実施。



(講習会の状況)

安全対策の取組事例 . . . ハード面の対策

○ 事故の抑制・抑止の視点

- ・ 転落防止を目的とする安全柵の設置
- ・ 進入防止を注意喚起する看板の設置

- ・ 転落時の脱出補助施設の設置
- ・ 転落防止を目的とする安全柵の設置



(安全柵設置状況)



脱出補助施設(安全ネット)

※事故抑制：看板などの事故を未然に防止すること、事故抑止：転落防止などの事故を物理的に防止すること